週刊日本株レポート（1/22～1/26）　～ 日経平均23,000円台で底堅く推移 ～

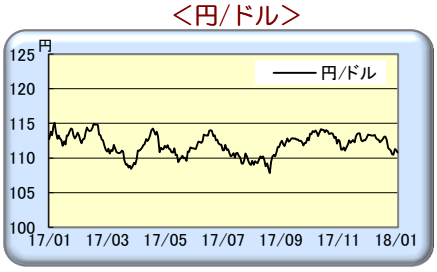
2018年1月22日作成

1. 日米株式と円／ドルの推移

＜日本株＞

＜米国株＞

＜円/ドル＞



（注）チャートは過去1年

	単位	2017/12/29（前年末）	2017/12/29（前月末）	2018/1/19（前週末）	過去3年高値 水準	過去3年高値 日付	過去3年安値 水準	過去3年安値 日付
日経平均	円	22,764.94	22,764.94	23,808.06	24,084.42	2018/1/18	14,864.01	2016/6/24
NYダウ	ドル	24,719.22	24,719.22	26,071.72	26,153.42	2018/1/18	15,370.33	2015/8/24
円/ドル	円	112.69	112.69	110.77	125.86	2015/6/5	99.02	2016/6/24

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場　先週の振り返り　～ 業績上方修正期待などを背景に日経平均が一時24,000 円台にのせる展開 ～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が＋154.24円（＋0.65%）、TOPIXが＋13.50ポイント（＋0.72%）となり、業績上方修正期待などを背景に日経平均が一時24,000 円台にのせる展開となりました。業種別（東証33業種）にみると、その他製品、電気機器、金属製品など18業種が上昇する一方、鉄鋼、石油・石炭製品、非鉄金属など15業種が下落しました。

週明けの15日は、先々週末の米国株市場が金融機関の好決算発表等を背景に上昇したことを受けて上昇して始まりました。16日も本格的な決算発表を控え、業績上方修正期待などを背景に堅調に推移し、日経平均、TOPIXとも年初来高値を更新しました。18日には、前日の米国主要株価指数が最高値を更新したことや円安ドル高が進行したことを受けて大きく上昇し、日経平均は24,000円台にのせて始まりました。しかし、その後引けにかけては利益確定売り等に押され、結局マイナス圏に沈みました。週末19日は、来週から始まる主要企業の決算発表を控え、業績上方修正期待が下値をサポートする一方、米国において暫定予算の失効による政府機関閉鎖への懸念が払拭されない中、揉み合う展開となりました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目		前回
1月22日	Mon	日本	通常国会		
			流動性供給入札		
			日本銀行、政策委員会・金融政策決定会合（23日まで）		
		欧州	ユーロ圏財務相会合（ブリュッセル）		
1月23日	Tue	日本	日本銀行「経済・物価情勢の展望（展望レポート）」		
			全産業活動指数（前月比）	11月	0.3%
		欧州	EU（欧州連合）財務相理事会（ブリュッセル）		
		国際	世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議、26日まで）		
1月24日	Wed	日本	貿易収支	12月	1134億円
1月25日	Thu	日本	20年利付国債入札		
		米国	新築住宅販売件数	12月	733千件
			景気先行指標総合指数	12月	0.4%
1月26日	Fri	日本	CPI（全国消費者物価指数）（除生鮮/前年比）	12月	0.9%
		米国	GDP（国内総生産）速報値（年率/前期比）	10-12月期	3.2%
			耐久財受注（前月比）	12月	1.3%

決算発表予定　他	
日本	決算発表 ： 1/23 東京製鐵、安川電機 1/24 日本電産 1/25 日立国際電気、KOA、MonotaRO 1/26 ファナック、信越化学工業
海外	決算発表 ： 1/22 ネットフリックス、UBS 1/23 ジョンソン・エンド・ジョンソン、プロクター・アンド・ギャンブル、ベライゾン・コミュニケーションズ、テキサス・インスツルメンツ 1/24 ゼネラル・エレクトリック、ユナイテッド・テクノロジーズ、コムキャスト、フォード・モーター、ノバルティス 1/25 キャタピラー、インテル、ウェスタン・デジタル、スターバックス、3M、STマイクロエレクトロニクス、フィアット・クライスラー、モエ・ヘネシールイ・ヴィトン、e度教育網、ネイバー、マルチ・スズキ

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場　今週の見通し　～ 日経平均23,000円台で底堅く推移 ～

今週の日本株市場は、①日経平均が24,000円を上回る局面では、短期的な利益確定に伴う売り圧力が強まりやすいこと、②ビットコインの急落を受けて個人投機家の買い意欲を一時的に抑制するとみていることなどから上値は重いものの、③決算発表が本格化する中、企業業績に対する上方修正期待が高まりやすいこと、④22～23日にかけて行われる日銀金融政策決定会合では現状の金融政策が維持されるとみている中、米国長期金利の上昇を受けて円安ドル高圧力が高まりやすいこと、⑤米国議会において暫定予算の延長が速やかに可決され、政府機関の閉鎖は一時的なものに留まるとみていることなどから、日経平均23,000円台後半で底堅く推移すると予想します。

その他の注目材料として、日本では24日の貿易収支や26日のCPI、米国では主要企業の決算発表に加え、25日の新築住宅販売件数、26日のGDPや耐久財受注、国際では23～26日にかけて開催されるダボス会議などが挙げられます。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.
URL：http://www.alamco.co.jp
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第301号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、当社といいます）が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。

1801213